

3) 実施内容

<一日目 (座学 : 11:20 ~ 12:20 実践講習 : 13:30 ~ 16:00) >

- ・長岡市山古志地区種芋原あまやち会館にて、長岡技術科学大学上村助教授より、「雪かき道越後流指南書」を使用して講義を実施。地元の指南役にも講義に参加していただき、指南書について助言及び評価をいただく。
- ・午後は実践講習として、カンジキを履いて建物周囲の状況を確認したり、スコップやスノーダンプの基本的な使い方を指南役から学ぶ。雪の階段を作りながらスコップとスノーダンプの実習も行う。

写真 4 - 8 講義風景



写真 4 - 9 実践講習 の風景



<二日目 (雪かき体操、実践講習 : 8:30 ~ 11:00) >

- ・体調管理のため、実践講習の前に、青森県教育委員会が開発した「雪かき体操」を使用して準備運動を実施。
- ・実践講習 では、あまやち会館近くのグラウンドの管理棟 (鉄筋 3 階建て、平屋根) にて、カンジキを履いて建物周囲の状況を確認した後、実際に平屋根に上がり、指南役の指導を受けながら雪下ろし作業を体験。

写真 4 - 10 実践講習 の風景 1



写真 4 - 11 実践講習 の風景 2



- ・修了式では、上村助教授より、参加者全員に対して「越後雪かき道場初級コース」の修了認定証が授与される。
- ・最後に、指南役になっていただいた坂牧氏、金内氏より講評をいただく。

写真 4 - 12 修了認定証の授与



写真 4 - 13 記念撮影



スコップで雪かきを練習する参加者ら（山古志種稈学原地区で）

山古志で雪下ろし講習

過疎や高齢化に悩む豪雪で雪下ろしの担い手が不足し、倒壊する住宅が相次いだ。県内には多数の「越後雪かき道場」が20日発足した。長岡市、山古志地域で開かれた初の講習会に、「越後雪かき道場」の担い手育成で初めて参加した、山古志種稈学原地区に集まった約10人が参加した。田貴史さん

雪かき道場は、長岡技士会が中心となり、雪かき作業に汗を流す参加者20日、長岡市山古志種稈学原地区に集まった約10人が参加した。講習会は2月まで計4回を予定している。

雪かき道場は、長岡技士会が中心となり、雪かき作業に汗を流す参加者20日、長岡市山古志種稈学原地区に集まった約10人が参加した。講習会は2月まで計4回を予定している。

平成 19年 1月 21日 読売新聞

豪雪克服 新戦力を期待

長岡・山古志「雪かき道場」

地元名人が技指南

都会ボランティア奮闘

雪かき道場は、長岡技士会が中心となり、雪かき作業に汗を流す参加者20日、長岡市山古志種稈学原地区に集まった約10人が参加した。講習会は2月まで計4回を予定している。

雪かき道場は、長岡技士会が中心となり、雪かき作業に汗を流す参加者20日、長岡市山古志種稈学原地区に集まった約10人が参加した。講習会は2月まで計4回を予定している。

平成 19年 1月 21日 新潟日報

(3) 第2回越後雪かき道場(初級コース)in 塩谷 実施報告

1) 開催要旨

第2回越後雪かき道場(初級コース)では、災害ボランティア団体「静岡絆の会」(25人)を対象に、第1回と同様、除雪ボランティアのスキルアップ、安全指導、双方向の関係づくりなどを目的とした。

会場となった小千谷市塩谷地区は、中越地震で大きな被害を受けたが、その後外部のボランティア団体等から多くの支援を受け、復興に取り組んでいるところである。「静岡絆の会」も塩谷地区の支援活動を続ける団体の一つであり、今回は「雪かき応援団」として独自にツアーを予定していた。そこで、中越復興市民会議を介して、「静岡絆の会」に「越後雪かき道場」の実施を提案し、共同で開催することとなった。

日 時	平成19年2月3日(土)、4日(日)
場 所	小千谷市塩谷地区 芒種庵
参加者	静岡県より25人(静岡絆の会)
参加費	静岡絆の会として、雪かき応援団のツアー代金 1人12,000円 越後雪かき道場としての参加費はなし
備 考	災害ボランティア団体「静岡絆の会」と共同開催

2) 当日スケジュール

一日目	9:00	小千谷市塩谷集落センター集合、オリエンテーション
	10:00	除雪体験
	11:00~12:00	指南書に基づく座学 講師 ・財団法人日本システム開発研究所 諸橋和行 氏
	12:20~13:30	昼食・休憩
二日目	13:30~15:30	実践講習 (3班に分かれて) 1. カンジキ講習(雪原歩き) 2. スコップによる除雪講習 3. スノーダンプによる除雪講習 指南役: 地元住民 星野卯三郎氏、関要作氏、星野武司氏、関克己氏、 星野賢一氏、星野哲雄氏、星野剛氏、星野淳一氏
	18:00~	交流会、ギターミニコンサート
	7:00	起床
	8:00	雪かき体操
二日目	8:30~10:30	実践講習 カンジキ雪原歩き、雪遊び 除雪作業 指南役: 地元住民 関善之氏、星野正文氏、関邦宇氏ほか10人
	11:00~11:30	越後雪かき道場初級コース 修了認定証授与 指南役講評 解散

3) 実施内容

<一日目(座学:11:00~12:00 実践講習 :13:30~15:00)>

- ・小千谷市塩谷地区の芒種庵周辺において、最初に、指南役(地元住民)からの指導を受けずに、参加者に自由に除雪作業を実施していただく。
- ・芒種庵にて、「雪かき道 越後流指南書」を使用して講義を実施。地元の指南役にも講義に参加していただき、指南書について助言をいただく。
- ・午後は実践講習として、3班に分かれて、指南役の指導の下、カンジキを履いて雪原歩いたり、スコップやスノーダンプの基本的な使い方を学ぶ。

写真 4 - 14 講義風景



写真 4 - 15 実践講習 の風景



<二日目(雪かき体操、実践講習 :8:00~10:30)>

- ・体調管理のため、実践講習の前に、青森県教育委員会が開発した「雪かき体操」を使用して準備運動を実施。
- ・実践講習 では、機械除雪後の車庫前や玄関先に堆積した雪の除雪作業を行う。

写真 4 - 16 実践講習 の風景 1



写真 4 - 17 実践講習 の風景 2



- ・修了式では、上村助教授より、参加者全員に対して「越後雪かき道場初級コース」の修了認定証が授与される。
- ・最後に、指南役になっていただいた星野卯三郎氏、星野淳一氏より講評をいただく。

写真 4 - 18 修了認定証の授与



写真 4 - 19 記念撮影



今年も新潟へ除雪奉仕

「静岡絆の会」ミニ演奏会も

きよ 島出

新潟県中越地震で被災の同村と周辺で除雪ボラのボランティア活動に当たる。今回は沼津市在住のプロの会（会長・土屋賢一）が参加し、現地ミニコンサートを開催して住民らに励ます。

二日夜に三島市役所を出発し四日まで、豪雪地帯

「リベラスコール」で学ぶ不登校状態の生徒や職員計十人も参加する。作業は生活道路を確保するための雪かきや雪運

びが主体で、土屋会長は「今年も雪が少ないが、それでも高齢者が一歩外に出掛けるにも大変な状況」と説明する。

地蔵前に五十二戸あった村は被災に伴う離村などで現在十七戸になり、雪かきの共同作業も思うようにできないという。参加者は、離村者が村に寄付した自宅を活用した集会所「芒種庵」に泊ま

り、三日夜に同所でコンサートを開いて住民と参加ボランティアが交流を深める。

平成 19 年 2 月 2 日 静岡新聞

(4) 第3回越後雪かき道場(上級コース)in 山古志 実施報告

1) 開催要旨

第3回越後雪かき道場(上級コース)では、初級コースを修了した者、または雪国での除雪経験がある者を対象として、より高度な除雪活動を行うための除雪機械等の操作方法を習得することを目的とした。将来の除雪活動の様々な場面に対応するため、小型除雪機(ハンドガイド式ロータリー除雪車)の操作方法及び労働安全衛生法に定められた「小型車両建設機械(整地等)運転業務」の研修(実技含む13時間)を受講するとともに、ホイールローダの現地訓練を行った。

日 時	平成19年2月11日(日)、12日(月・祝日)
場 所	長岡市山古志地区(座学は山古志体育館会議室、実技は体育館駐車場)
参加者	県内外より14人
参加費	3,000円/人(講習会費、保険料、2日分の昼食代含む)
備 考	北陸地方整備局企画部施工企画課を通じて、除雪機械(長岡国道事務所提供)を手配。日本建設機械化協会北陸支部より、機械実習の講師派遣。

2) 当日スケジュール

一日目	7:30	長岡駅東口集合
	8:30	山古志支所集合
	9:00~12:00	安全講習(座学、途中休憩あり) 講師 ・SCM 教習所(株)北陸教習センター長 長谷川氏 ・日本建設機械化協会北陸支部 事務局長 三日月氏
	12:00~13:00	昼食・休憩
	13:00~17:00	安全講習(座学、途中休憩あり)
	18:30~	小千谷市内で意見交換会(希望者のみ)
	二日目	7:30
8:30		山古志支所集合
9:00~9:10		実技指導の説明(全員を3班に分かれて実技指導) 講師 ・SCM 教習所(株)北陸教習センター長 長谷川氏 ・日本建設機械化協会北陸支部 事務局長 三日月氏 ・中日本キャタピラー三菱建機販売(株) 小林氏 ・(株)星野自動車工業 金子氏、中野氏、平沢氏
9:10~12:00		実技(山古志体育館駐車場にて機械操作実習)
12:00~13:00		昼食・休憩
13:00~15:25		実技(山古志体育館駐車場にて機械操作実習)
15:30~16:00		越後雪かき道場 上級コース 修了認定証授与 講評 解散

3) 実施内容

< 一日目 (座学 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00) >

- ・長岡市山古志体育館の会議室にて、SCM 教習所 (株) 北陸教習センター長の長谷川氏より、「小型車両系建設機械 - 運転者特別教育テキスト」を使用して講習を実施。
- ・午後の講義のうち 1 時間は、日本建設機械化協会北陸支部の三日月氏より、「歩道除雪機械ハンドブック (ハンドガイド式除雪機編)」のテキストを用いて特別講習を実施。

写真 4 - 20 講義風景 1



写真 4 - 21 講義風景 2



< 二日目 (実技 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 16:00) >

- ・参加者を 3 班に分け、体育館裏の駐車場の落雪を利用して、小型除雪機及びホイールローダの実技指導を実施。
- ・長岡国道事務所より特別に貸与された 2 台の小型除雪機を利用し、長岡市の (株) 星野自動車工業より、金子氏ら 3 名が実技を指導。
- ・ホイールローダについては、中日本キャタピラー三菱建機販売 (株) より運搬して使用し、運転操作の基本や雪山から切り出した雪の運搬などの実技を指導。

写真 4 - 22 実技指導風景 1



写真 4 - 23 実技指導風景 2



- ・修了式では長谷川氏より講評をいただく。
- ・長岡技術科学大学上村助教授より、参加者全員に対して「越後雪かき道場上級コース」の修了認定証が授与される。

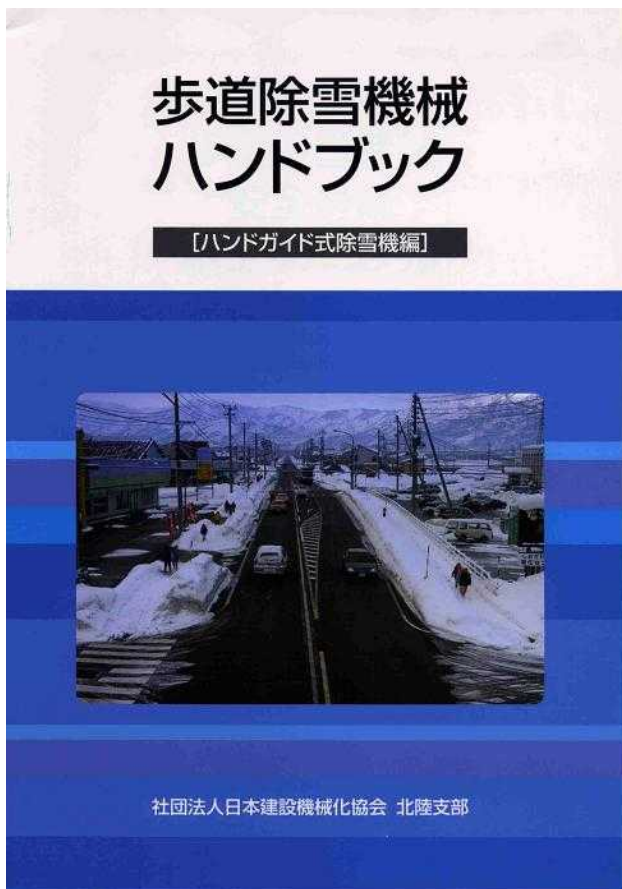
写真 4 - 24 修了認定証の授与



写真 4 - 25 記念撮影



図表 4 - 21 講義で使用したテキスト



(5) 第4回越後雪かき道場(初級コース)in 飯山 実施報告

1) 開催要旨

第4回越後雪かき道場(初級コース)では、長野県飯山市において、長野県社会福祉協議会及び飯山市社会福祉協議会と連携し、長野県内外のボランティア等を対象に実施した。長野県では、平成18年豪雪の際、400名以上の除雪ボランティアを受け入れる体制を整備している。そこで、既に除雪ボランティアの受け入れを実践している地域において、「越後雪かき道場」のスキルやノウハウを持ち込むことにより、除雪技術の向上、安全対策、広域的な連携の仕組みづくりを図ることを目的とした。

日 時	平成19年2月24日(土)、25日(日)
場 所	長野県飯山市戸狩地区 高源院
参加者	県内外より18人
参加費	5,000円/人 (宿泊費、夕食・朝食代含む)
備 考	主催 長野県社会福祉協議会 共催 飯山市社会福祉協議会 協力 越後雪かき道場 実行委員会

2) 当日スケジュール

一日目	12:30	飯山市戸狩 高源院集合
	13:00	開会、あいさつ：長野県社会福祉協議会 美谷島氏 飯山市社会福祉協議会 武田氏
	13:10~14:10	オリエンテーション 講師 長岡技術科学大学 上村助教授
	14:30~16:30	実践講習 (3班に分かれて) 1. スコップ、スノーダンプによる除雪講習 2. 雪像を作ろう大会 指南役 ・高源院住職 江澤一遠氏 ・地元住民 木原喜正氏 ・地元住民 木原庄治氏
	18:30~	夕食、交流会、指南役講評 お話(昨年の豪雪の写真や映像を見ながら) ・高源院住職 江澤一遠氏
	20:30	雪像にキャンドル点灯
	22:00~	雪かきカルタ大会(希望者のみ)
二日目	6:00	座禅体験
	8:00	郷土料理(やしょうま)作り 講師 坪根登美子氏
	9:30~11:30	実践講習 (2班に分かれて) ・A班 カンジキトレッキング ・B班 高齢者宅訪問
	11:30~12:00	越後雪かき道場初級コース 修了認定証授与 指南役講評 解散

3) 実施内容

<一日目(座学:13:10~14:10、実践講習 :14:30~16:30)>

- ・飯山市戸狩高源院にて、長岡技術科学大学の上村助教授より、「雪かき道越後流指南書」を使用して講義を実施。関東、関西からの参加者には除雪の話をも初めて聞く人が多かった。また、地元の指南役にも講義に参加していただき、指南書について助言及び評価をいただく。
- ・午後は実践講習として、地元住民3名の指南役より、スコップやスノーダンプの基本的な使い方を学ぶ。また、雪に親しんでもらうため、遊びの要素を取り入れながら雪像づくりを体験した。

写真4-26 講義風景



写真4-27 実践講習 の風景



<二日目(実践講習 :9:30~11:30)>

- ・飯山市でも雪の多い岡山地区で、2班に分かれてトレッキングとヒアリングを実施。
- ・A班は、森の家(いいやまブナの森倶楽部)の主催する障害者との森歩きに合わせてカンジキトレッキングを実施。
- ・B班は、同じ岡山地区の柄山集落(13世帯)の高齢者宅を訪問し、昨年の豪雪の話聞き、雪国の暮らしや豪雪時のボランティアの必要性などを語り合う。

写真4-28 実践講習 の風景1



写真4-29 実践講習 の風景2



- ・修了式では、上村助教授より、参加者全員に対して「越後雪かき道場初級コース」の修了認定証が授与される。
- ・最後に、今回の道場の主催者である長野県社会福祉協議会の長峰氏及び柄山集落の民生委員の桑原氏より挨拶をいただく。

写真 4 - 30 修了認定証の授与



写真 4 - 31 記念撮影



地元住民の指導で雪かきを体験する 雪かき道場イン飯山の参加者たち

雪かき助っ人 飯山で「道場」

飯山市の白河地区で二十四日、除雪ボランティア対象の「雪かき道場イン飯山」が二日間の日程で始まった。県社会福祉協議会が主催、県内外から大学生約三十人が参加し、地元住民の指導で雪かきの習得を体験した。

雪かき講習には舞われた昨冬から一転して雪が少なく、久々に雪が降ったこの日も除雪体験には不十分。体育施設の屋根が落ちてきた高さ三層ほどの雪山を越えながら、参加者は雪を切り崩すなどしてスコップやクレーダンの扱い方を講習。雪使った打る作りにも挑戦した。

講師は、新潟県で経験豊かな道場を主宰する上村博司。長岡技術科学大助教授曰く「雪水工学」スコップで雪の堆に切れ目を入れてから運び出すのが効果的な方法を伝授した。「雪量いんならんだめに感じた」と飯山の大学生南穂菜々丸(20)も「雪かき実感があって、飯山にいらしてよかった」とスコップを握っていた。

県内外から30人参加

平成 19 年 2 月 25 日 信濃毎日新聞

図表4-22 第4回越後雪かき道場 in 飯山 チラシ

雪かき道場 in 飯山

除雪ボランティア体發を
通して、雪国の暮らしたく。
土を味わていただく。

平常時の冬の暮らしに
活かせるかどうか試してみる。

1966年 新潟県北条郡飯山町町長
長岡技術工科大学助教授 工学博士
【主な研究テーマ】
【社会活動】
【寄付活動】

1966年 新潟県北条郡飯山町町長
長岡技術工科大学助教授 工学博士
【主な研究テーマ】
【社会活動】
【寄付活動】

1966年 新潟県北条郡飯山町町長
長岡技術工科大学助教授 工学博士
【主な研究テーマ】
【社会活動】
【寄付活動】

除雪ボランティアによる
お礼状の配布、
笑顔の送付作業

昨年の冬
(平成28年豪雪)
は、地内約4万
1,900名のボランティアが
飯山、白根地域で活動した。

2017.2.24(土)~25(日)

雪かき道場 in 飯山

飯山市戸狩温泉「高源院」

参加費 1,000円(税込) 参加費 4,000円(税込)

主催 長野県社会福祉協議会
共催 飯山市社会福祉協議会
協力 飯山 越後 雪かき道場
長野県社会福祉協議会
飯山市社会福祉協議会
長野県社会福祉協議会
飯山市社会福祉協議会
飯山市社会福祉協議会

お問い合わせ
長野県社会福祉協議会
飯山市社会福祉協議会
電話 026-226-1882
Fax 026-291-5180
E-mail: vcenter@nshkyo.or.jp

24日(土)

- 13:00 飯山市戸狩 高源院 集合
- オリエンテーション
- 上村清司 師範代
- 雪かき道場Ⅰ
- 指前夜: 五沢一達氏(高源院住職)
- 雪かき体験/カンジキ講習
- スコップによる除雪/スノーダン
- 作業終了、片付け
- 入浴・夕食
- ミーティング(交流会)

25日(日)

- 6:00 起床体操・朝食
- 8:30 やしむらまづくり
- 9:30 雪かき道場Ⅱ
- 指前夜: 坪根康美子(味玉末飯山)
- 高齢者宅を訪問、雪かき交流
- 12:00 ふりかぶり
- 終了式、指前夜ご挨拶
- 12:30 解散

越後雪かき道場 in 飯山

除雪ボランティア体發を
通して、雪国の暮らしたく。
土を味わていただく。

平常時の冬の暮らしに
活かせるかどうか試してみる。

1966年 新潟県北条郡飯山町町長
長岡技術工科大学助教授 工学博士
【主な研究テーマ】
【社会活動】
【寄付活動】

1966年 新潟県北条郡飯山町町長
長岡技術工科大学助教授 工学博士
【主な研究テーマ】
【社会活動】
【寄付活動】

1966年 新潟県北条郡飯山町町長
長岡技術工科大学助教授 工学博士
【主な研究テーマ】
【社会活動】
【寄付活動】

除雪ボランティアによる
お礼状の配布、
笑顔の送付作業

昨年の冬
(平成28年豪雪)
は、地内約4万
1,900名のボランティアが
飯山、白根地域で活動した。

2017.2.24(土)~25(日)

越後雪かき道場 in 飯山

飯山市戸狩高原院

参加費 1,000円(税込) 参加費 4,000円(税込)

主催 長野県社会福祉協議会
共催 飯山市社会福祉協議会
協力 飯山 越後 雪かき道場
長野県社会福祉協議会
飯山市社会福祉協議会
長野県社会福祉協議会
飯山市社会福祉協議会
飯山市社会福祉協議会

お問い合わせ
長野県社会福祉協議会
飯山市社会福祉協議会
電話 026-226-1882
Fax 026-291-5180
E-mail: vcenter@nshkyo.or.jp

第一日

- 13:00 飯山市戸狩 高源院 集合
- オリエンテーション
- 師範、長岡技術工科大学 上村清司先生
- 14:10 昼食(各自持参)
- 14:30 笑顔講習
- 雪かき体験
- Ⅰ: カンジキ講習・節操講習の確認
- Ⅱ: スコップによる除雪講習
- Ⅲ: スノーダンによる除雪講習
- 作業終了、片付け
- 17:30 入浴
- 18:30 夕食
- 20:00 ミーティング(交流会)
- 22:00 就寝

第二日

- 6:00 起床体操
- 7:30 朝食
- 8:30 やしむらまづくり
- 9:30 オリエンテーション
- 10:00 雪かき体験時間
- 除雪ボランティア体験
- Ⅰ: カンジキ講習
- Ⅱ: スコップ講習
- 12:00 ふりかぶり
- 終了式、指前夜ご挨拶
- 12:30 解散

(6) 越後雪かき道場の評価 - 参加者アンケート結果 -

越後雪かき道場においては、各回のプログラムの最後に、参加者に対してアンケート調査を実施しており、実施内容に対する満足度や意見・感想などを把握している。第1回から第4回までの参加者アンケートの結果を以下に整理する。

1) 回答者(参加者)の属性について

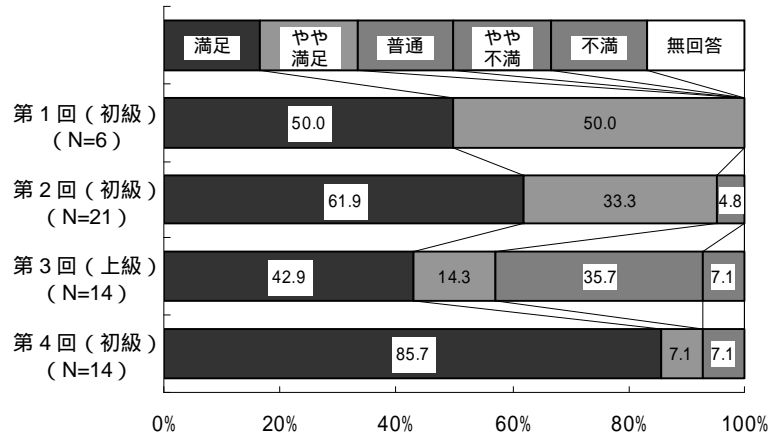
図表4-23 回答者の属性と除雪経験

		第1回	第2回	第3回	第4回
		回答者数(割合)	回答者数(割合)	回答者数(割合)	回答者数(割合)
回答者の総数		6 (100.0%)	21 (100.0%)	14 (100.0%)	14 (100.0%)
雪国での生活経験	0年間	2 (33.3%)	17 (81.0%)	6 (42.9%)	9 (64.3%)
	1~10年間	2 (33.3%)	2 (9.5%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)
	11年間~	2 (33.3%)	1 (4.8%)	5 (35.7%)	3 (21.4%)
	無回答	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)
年齢	~20才	0 (0.0%)	7 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)
	21~40才	6 (100.0%)	3 (14.3%)	9 (64.3%)	8 (57.1%)
	41~60才	0 (0.0%)	6 (28.6%)	5 (35.7%)	2 (14.3%)
	61才~	0 (0.0%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
性別	男性	6 (100.0%)	14 (66.7%)	14 (100.0%)	12 (85.7%)
	女性	0 (0.0%)	7 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)
	無回答	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
屋根の雪下ろしの経験	1. 毎年している	0 (0.0%)	1 (4.8%)	2 (14.3%)	2 (14.3%)
	2. したことはある	4 (66.7%)	4 (19.0%)	9 (64.3%)	2 (14.3%)
	3. したことがない	2 (33.3%)	15 (71.4%)	3 (21.4%)	10 (71.4%)
	無回答	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
家屋周囲の雪かきの経験	1. 毎年している	2 (33.3%)	1 (4.8%)	6 (42.9%)	3 (21.4%)
	2. したことはある	3 (50.0%)	7 (33.3%)	6 (42.9%)	7 (50.0%)
	3. したことがない	1 (16.7%)	12 (57.1%)	2 (14.3%)	4 (28.6%)
	無回答	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
除雪機械の使用経験	1. 毎年使っている	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)
	2. 使ったことはある	0 (0.0%)	2 (9.5%)	5 (35.7%)	2 (14.3%)
	3. 使ったことがない	5 (83.3%)	18 (85.7%)	9 (64.3%)	10 (71.4%)
	無回答	0 (0.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
主な雪かきの対象(複数回答)	1. 自宅	5 (100.0%)	2 (25.0%)	6 (50.0%)	9 (90.0%)
	2. 親類宅	1 (20.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	3. 近所の知り合い	2 (40.0%)	3 (37.5%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)
	4. 勤務先	1 (20.0%)	0 (0.0%)	3 (25.0%)	2 (20.0%)
	5. 有償の雪かき業務として実施	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)
	6. 除雪ボランティアに参加	2 (40.0%)	5 (62.5%)	6 (50.0%)	2 (20.0%)
	7. その他	0 (0.0%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	割合の基数: 除雪経験者	5	8	12	10

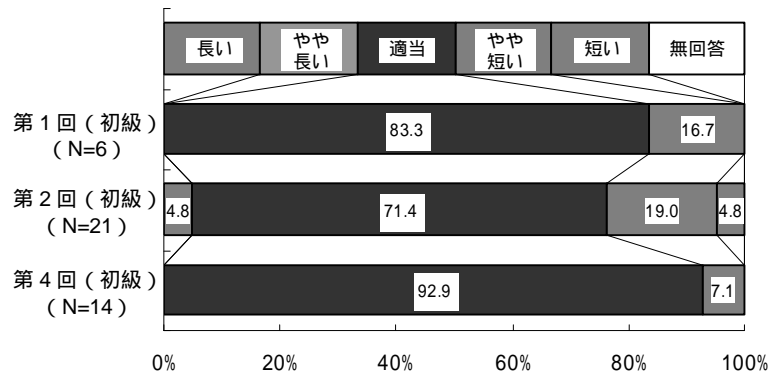
2) 座学に関するアンケート結果

図表 4 - 24 座学の内容・時間・難易度に関する評価

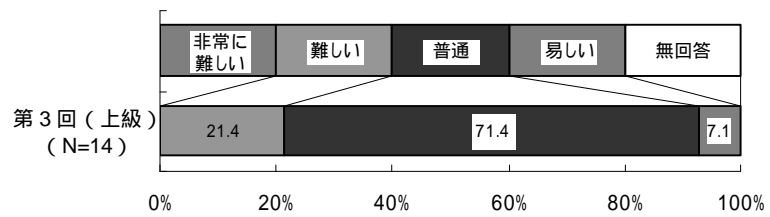
内容



時間



難易度



【座学についての自由記述】 1/2

第1回越後雪かき道場 in 山古志 (初級コース)

改善した方が良い点や提案

- ・ 地元の指南役にもっと話を聞く時間を持つと色々な話が出てくるのではないかな。
- ・ 指南書の大きさを小さくした方がいい。
- ・ テキスト (資料) は最終的に本にした方がいい。今後、参加者が多くなったときのため、参加者名簿または座席表があると良い。
- ・ 時間が短いと回答したが、雪かき初体験の方にとっては丁度いい時間だったと思う。
- ・ 指南書はもう少しコンパクトでも良い。

感想

- ・ 指南書を使う事で、これまで雪かきをやっていた地元の人やボランティアも改めて考える機会ができたと思う。
- ・ 師範代からも評価を受けたことから、雪国住民に対しても研修の必要性を感じた。
- ・ 時間的にはちょうどよかったが、理解が追いつかないまま先に進んでしまった部分もあったように思う。
- ・ 実習前のオリエンテーションとして、必要十分な内容だと思う。
- ・ 座学がとても良かったと思う。雪かきに関する基本はもちろんのこと、雪かきをする前の付近の危険認知はためになった。
- ・ テキストは全国版として使えると思う。

第2回越後雪かき道場 in 塩谷 (初級コース)

改善した方が良い点や提案

- ・ 色々な経験の人がいるので、現行で良い。
- ・ 暖かいお茶がほしい。

感想

- ・ とても分かりやすく、道具の使い方も理解しやすかった
- ・ とても勉強になった。村との交流もできてよかった。
- ・ 雪が少なかったため、仕事の内容があってよかった。雪のない地域から来る場合は、事前に内容を知ることが大切だと思った。
- ・ 知らないことがたくさんあった。
- ・ たくさんの雪を見たことがなかったのでびっくりした。来年も来たいと思った。
- ・ 疲れた。思っていたより時間に余裕があった。

第3回越後雪かき道場 in 山古志 (上級コース)

改善した方が良い点や提案

- ・ 時間の都合上、安全管理の部分が足早になってしまったこと。
- ・ 機械の講習に加えて、休み時間に雪をテーマにしたちょっとしたワークシートなどがあると座学が生きるのではないかな。主体のアイスブレイクがあると楽しい。昼食時間の有効活用も。
- ・ 講義の内容。
- ・ 開始時間が早くてつらい。東京始発の新幹線で間に合わない。

感想

- ・ 講習中、部屋が寒かった。
- ・ あまり詳しく知らなかったので、油圧のしくみ・パスカルの法則に感動した。
- ・ 意外に7時間の座学は長く感じなかった。
- ・ 1日7時間の座学は少しつらいが、決まりなのでしかたないのだろうか。
- ・ 若干長く、ポイントがつかみにくかった。
- ・ PPT を使用して頂いたので分かりやすかった。もう少しビデオ教材があるとなお良い。

【座学についての自由記述】 2/2

第4回越後雪かき道場 in 飯山（初級コース）

改善した方がよい点や提案

- ・事前に服装、他、装備、心がまえ、宿泊場所等らせてほしい。雪かき状況、雪国生活等ホームページで紹介してほしい。
- ・冊子がとてもわかりやすい。
- ・上村先生の話が、わからない人にも良くわかる内容で大変良いと思う。自分は、雪下ろしの事については、良くわかっているが、危険な事もあるので、初心に戻る事ができて良かった。
- ・雪かき道具の歴史に少しふれるのはどうか。

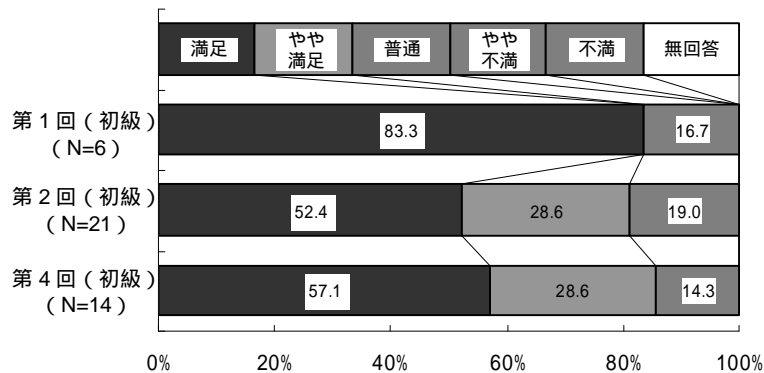
感想

- ・パンフレットが分かりやすくとても良かった。
- ・楽しくすごせた。ありがとうございました。できれば、もっと体験をしたいと思った。
- ・遅刻して、あまり内容が聞けなかったのが残念だが、聞けた範囲では、いろいろと例え（車何台分とか）があり、分かりやすかった。
- ・遅れてきて少ししか聞けなくて本当に残念である。
- ・ここまで深いことが（雪かきに）あるなんて知らなかったなので、新たな知識を得ることができ良かった。
- ・今年は、雪が少なく、ないので実技講習が短いですが、その地域の人と交流、参加者どうしの交流があるので、雪が少なくてもいい雪かき道場だと思う。
- ・道具の使い方や危険な場所を丁寧に教えてもらい、ためになって良かった。
- ・全くといっていいほど雪に対する知識がなかったので、講義を聞いて危険な場所や雪かきの知識を知る事ができ、とてもよかった。
- ・イラストも分かりやすく、親近感があった。指南書がすごい。
- ・雪国のボランティアの第一歩としての考え方としては、参加しやすいと思う。
- ・話を聞くことができ、興味をもつことができた。

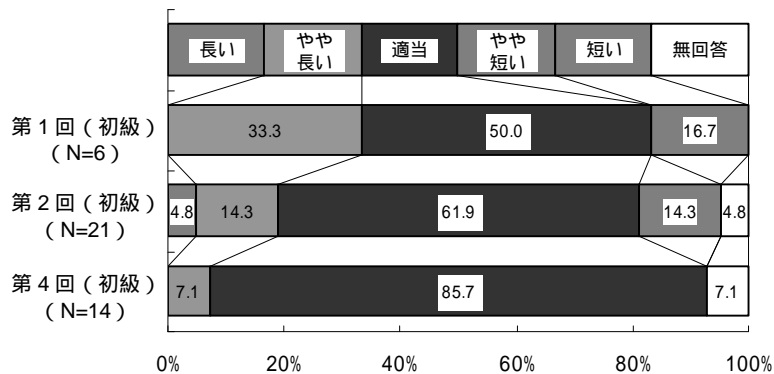
3) 1 日目の実践講習に関するアンケート結果

図表 4 - 25 1 日目の実践講習の内容・時間・体力的負担に関する評価

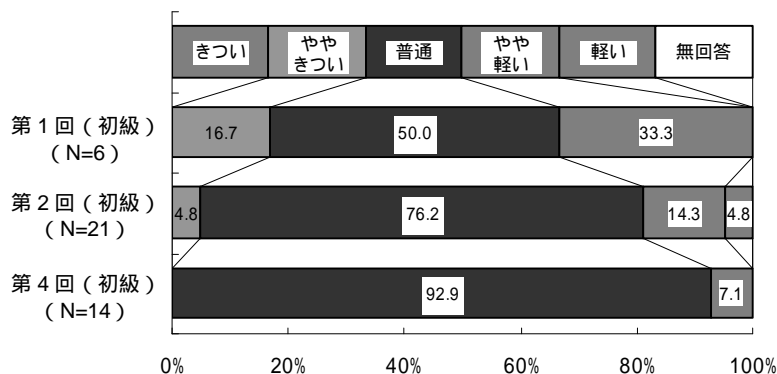
内容



時間



体力的負担



【1日目の実践講習についての自由記述】

第1回越後雪かき道場 in 山古志（初級コース）

改善した方が良い点や提案

- ・もし初心者ばかりであれば、階段を作っていく前にもう少しスコップの練習ができればいい。
- ・持参する服、用具について、初心者向けのチェックリストを事前に配布できると便利だと思う。
- ・雪そのものがなかったので仕方ないと思うが、もうちょっと広いところでやった方が良かった。

感想

- ・遊び感覚を入れた階段づくり競争などを入れた点は良かったと思う。
- ・かんじきを生まれて初めて履き、その効果を実感できたことがよかった。スノーダンプの使い方では、初めて習うことも多かった。
- ・変な力の入れ方をしていたせいか意外ときつく、今回は予定より早く終わったのが幸いした。
- ・時間的には短めだったが、初心者の体力的な負担を考えると適当だと思う。
- ・かんじき体験は貴重な体験だった。
- ・指南役の方の明朗快活な説明に満足した。

第2回越後雪かき道場 in 塩谷（初級コース）

感想

- ・午前中の座学のおかげで、スノーダンプが楽に使えた
- ・とてもいい経験ができてよかった。雪の厳しさなどを知ることができた。
- ・積もった雪は、とても重いということがよく分かった。思っていたより大変な仕事だった。
- ・もっと長い時間できるとよかった。
- ・おもしろかった。
- ・すごく疲れたが楽しくて、とてもいい経験ができた。
- ・けっこう大勢いたので混み合っていた。

第4回越後雪かき道場 in 飯山（初級コース）

改善した方が良い点や提案

- ・スコップ、スノーダンプの具体的な使い方（見本を見せて）を教えてほしい。
- ・自分が道具の使い方を間違えている感じもしたので、実際に道具をどう使うかを見せてもらえたら、より分かりやすかったように思う。
- ・水路への雪出しや、屋根の雪下ろしなども経験できたらよかった。
- ・スノーダンプで雪を移動する実践を入れてほしかった。
- ・雪不足のためしかたないが、屋根の危険性・こわさを実践したかった。

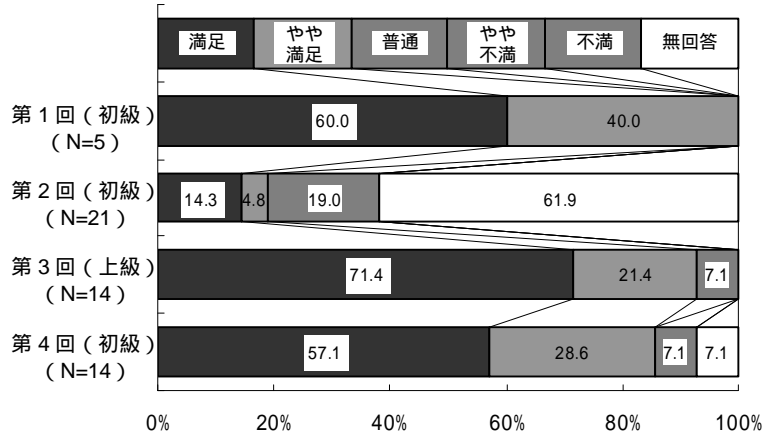
感想

- ・とても楽しかった。みんなのセンスのなさがよかった。
- ・一つの何かを作りあげるトレーニングは良い方法だと思う。スタッフの紹介は資料でほしい。
- ・「灯ろう」を作ることで、遊びの要素が入り、楽しめながら雪かき体験をすることができた。
- ・とても楽しかった。楽しく雪に触れあえる工夫がしてあったのがよかった。
- ・こんなに多くの雪とたわむれたのは始めてで、無心になって楽しめた。楽しかった。
- ・雪が多ければ、屋根などの雪下ろしをするだろうと思うが、雪が少ないので、少ないなりの工夫を考え、雪像をつくるという発想が良かったと思う。
- ・道具の正しい使い方と正しい除雪方法の周知を徹底した上であれば、「楽しむ」「親しむ」という意識がきっかけとなる事は、とても有意義だと思う。
- ・雪の重さを実感できて良かった。
- ・実践を通して、楽しく、道具の使い方などを学ぶ事ができ、とてもためになった。
- ・チームを組んで作業をしたことがよかった。会話をしながらだったので楽しむことができた。
- ・長野県民の参加を望む。

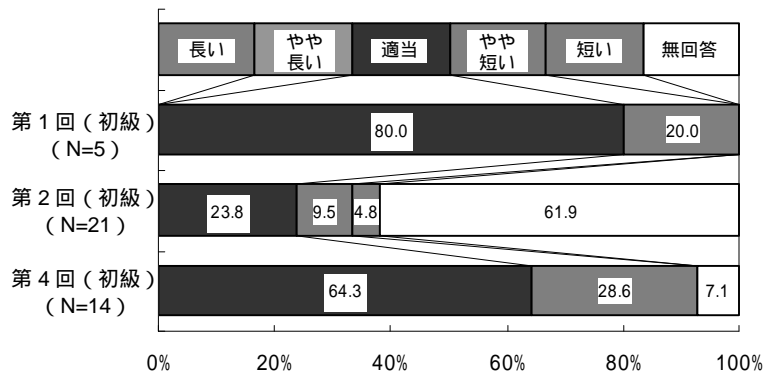
4) 2 日目の実践講習等に関するアンケート結果

図表 4 - 26 2 日目の実践講習の内容・時間・体力的負担・難易度に関する評価

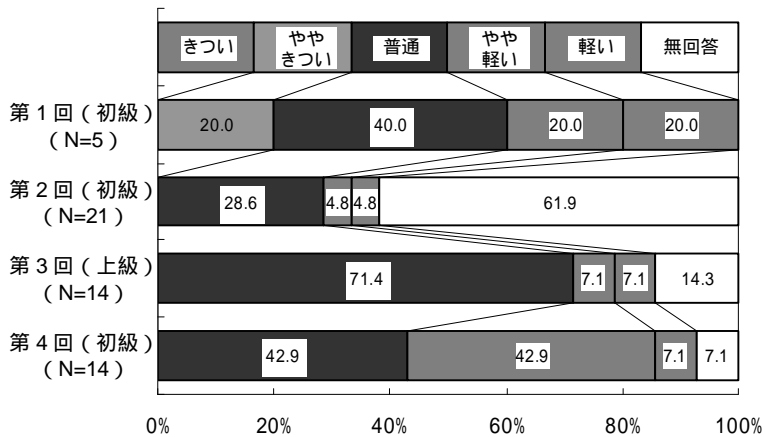
内容



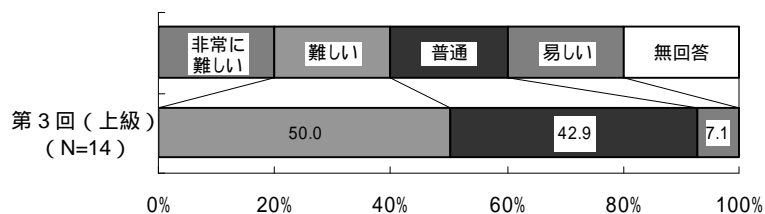
時間



体力的負担



難易度



【2日目の実践講習等についての自由記述】1/2

第1回越後雪かき道場 in 山古志（初級コース）

改善した方が良い点や提案

- ・屋根に上らない（上がれない）場合に、下でも何かできることがあるといい。
- ・落とした雪をダンプで運び、積み上げる作業も経験すれば良かったのではないが。

感想

- ・実際に屋根の上の雪下ろしが体験できてよかったと思う。
- ・今後は命綱についても検討していきたい。
- ・雪庇の危険や屋根上での作業の難しさを実感することができた。
- ・ただ掘るだけでなく、競争したり雪を捨てる時狙いを定めたりと遊びながら雪かきをするのは良かったと思う。

第2回越後雪かき道場 in 塩谷（初級コース）

改善した方が良い点や提案

- ・遊びを取り入れるのはとてもいい。しかし、その分作業時間も増やした方がいい。

感想

- ・楽しかった
- ・楽しくできた
- ・筋肉痛だったが楽しかった。雪は楽しい。
- ・今年は雪が少ないため、雪かきするところが少なく、混み合っていた。

第3回越後雪かき道場 in 山古志（上級コース）

改善した方が良い点や提案

- ・安全に活動するためには、今回程度の実技は最低限必要だと思う。
- ・移動時間や説明をスムーズにして、もう少し機械に触れる時間が多いほうがよいと思う。
- ・小型除雪車だけ長いと飽きてしまう。ゲーム制を取り入れるなど、工夫すると楽しく学べる。寒い中、立ったまま動かないでいると寒くなる。
- ・待ち時間の有効活用。昼休みのWSなどがあると励みになる。
- ・休憩を一律に取ったほうが良い。長時間の外は体が冷える。
- ・ホイールローダの時間がもう少し長い方がいい。
- ・寒かったため、適度なお茶休憩が欲しかった。

感想

- ・待ち時間が長いので寒かったが、受講者同士会話をする時間になり、それなりに退屈しないで過ごせた。
- ・建機を使った貴重な経験ができてよかった。
- ・とにかく外が寒かった。
- ・充実したプログラムだと思う。トイレが近くにあって助かった。
- ・座学と実地講習で非常にしていた。ただ今回学んだ事を活かす場を持たないと忘れてしまう。
- ・実習は難しかったが、なかなか体験できないもので、やって良かった。
- ・ホイールローダの運転は気持ちいい。毎年定期的に運転する機会を提供するといい。
- ・大変役に立った。

【2日目の実践講習等についての自由記述】2/2

第4回越後雪かき道場 in 飯山 (初級コース)

改善した方がよい点や提案

- ・急斜面をのぼってみたかった。

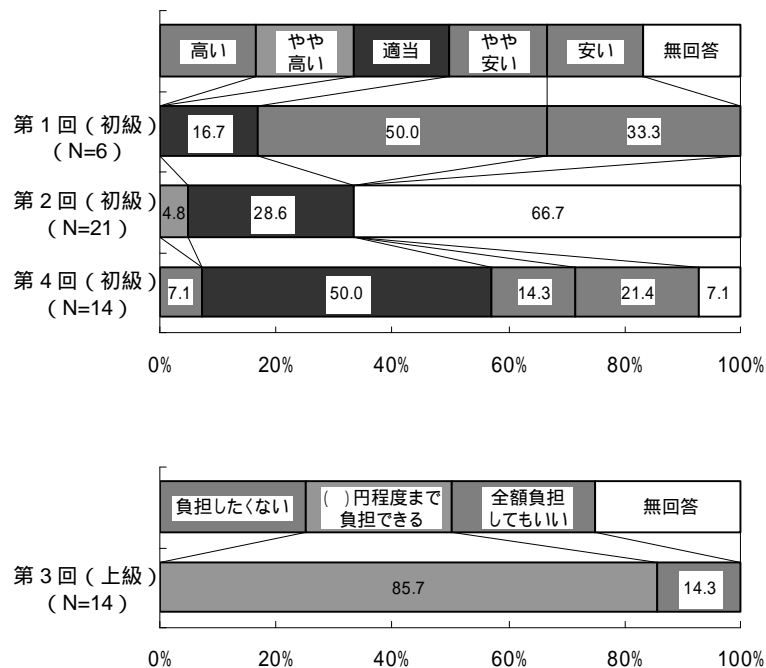
感想

- ・もっと雪かきは大変でつらいという話が主かと思っていたが、人と人のあたたかみや、生活の工夫などを聞いて雪国の生活も悪くないのだなと思った。
- ・かんじきをはいたことがなかったので、雪国の生活に触れることができよかった。
- ・すごく貴重な話を聞いて本当に良かった。初めての場所で初めての人との話だったが、貴重な出会いとなり、人との交流ってステキだと感動した。
- ・自分でもトレッキングに参加していた事もあるので、別な所でもトレッキングができて良かった。春になると、山菜についてのガイドをしているが、参加者の立場でトレッキングをして勉強になった。
- ・かんじきの効果を実感する事ができて楽しかった。
- ・初めてかんじきをはいて雪の上を歩いてみて、かんじきのすごさを体験を通して知ることができてよかった。
- ・かんじきをはけてよかった。
- ・普段体験することのできない貴重な体験ができたと思う。楽しかった。

5) プログラム全体に関するアンケート結果

図表 4 - 27 プログラムの費用に関する評価

費用



【プログラム全体についての自由記述】1/3

第1回越後雪かき道場 in 山古志（初級コース）

改善した方が良い点や提案

- ・今回は参加者が少なかったのですが大丈夫だったが、参加人数が多いともう少し安全面の配慮が必要かもしれない。
- ・初日は午後からの設定とすることで、遠方からの参加者が楽になると思う。

感想

- ・宿泊施設や指南役が特によかった。
- ・第1回目としてはとてもよかった。
- ・内容や今回の施設を考えると、参加費は格安である。場所や時間設定についてもちょうどよかったのではないかな。
- ・今回は、地元の皆様にもたいへん協力いただき、雪国を満喫してしまった。
- ・施設・食事等だけを見るととても格安だが、参加者は別途交通費を払って来ることを考えると妥当な金額だと思う。
- ・第1回目としては、至れり尽くせりの待遇で満足した。

自由意見

- ・やはり平時からいかに顔の見えるつながりを作っておくかが大切であると思う。今年のような小雪のときに地域外のボランティアとの関係性を作り、人材を育成していくことが大切であると思う。
- ・指南書第2部除雪ボランティア・コーディネート編の作成につなげていきたい。
- ・それなりに雪国の経験はあっても、新たな発見がたくさんあった。日頃からの連携を継続するためには苦しいだけでは無理があり、特に初心者の講習としては今回のような適度な休憩や夜の交流の場も必要と感じた。今回、地元の皆様にお世話になったが、初日の夜の交流会や2日目の実習時に集落内の適当な場所を使わせてもらうなどして、交流できる機会を増やせると良いと思う。また、継続させるためにも、道場参加者以外の家族が雪で遊べるような企画があると更に良いと思うがどうだろうか。
- ・上村先生のおっしゃるとおり「20年に一度の豪雪の対策には19年間の準備が大切」。一般公募をどんどんして、全国から参加者に来てもらえるようになればいいと思う。
- ・モバイト.comのようなやり方（ビジネスモデルではないと思うが）で、ボランティアの登録制度を作ってもいいと思う。ITや携帯の時代であるし、若者を捕らえやすいと思う。

第2回越後雪かき道場 in 塩谷（初級コース）

改善した方が良い点や提案

- ・女子部屋として使った部屋に換気をつけてほしい。
- ・トイレと風呂。

感想

- ・みんなと協力する大切さが分かった。
- ・今回初めてのボランティアだったが、とてもいい経験をさせてもらった。また参加したい。
- ・雪かきは体力のいる仕事で大変だった。腕が痛い。夜寒くてびっくりした。楽しかった。

【プログラム全体についての自由記述】2/3

第3回越後雪かき道場 in 山古志 (上級コース)

改善した方が良い点や提案

- ・今回はとても参加しやすい額でありがたく、広く関心を持つことのできる企画にもなっていると感じたが、資格とともに責任感をもつ事を考えると、もうすこし高い参加費でもよかったと思う。個人的には嬉しい参加費だった。
- ・地元で普段使っている経験者と一緒に作業できるとよい。普段使っている場合の、留意点や経験談が聞ける。
- ・この講習は冬期以外にも可能なので、夏や秋にやってもよいのではないか。そのうえで安全講習会という形での内容など、地元の方を師範になってもらうこともできるのではないか。
- ・内容は申し分ないが、費用の面と、次回、実践できる場を考えなくてはならない。
- ・交通費を考えると¥13,000くらい負担する人もいると思う。ただし、ごく少数。雪に特化した講習としては有意義であったと思う。

感想

- ・今回の資格はすでに取得していたので、補助や事務局の方々の手間にも申し訳なく思うが、現場作業からは離れていたことや、除雪を想定した作業を改めて感じえる機会はとてもありがたかった。災害、防災を積極的に進めている皆様方と機械作業を体験できたのは、嬉しく良い体験になった。ありがとうございます。
- ・多少ハードなスケジュールではあったと思うが、いろいろな機械に触れることができ、楽しく講習を受けられてとても良かったと思う。
- ・合宿形式でやっても楽しいと思う(宿泊費などは各自負担で)。屋根の雪おとしと小型除雪車とセットでやれると充実感があるのではないか。
- ・除雪機の講座は、冬期に入る前に安全点検を兼ねてやってはどうか。
- ・このような講習を受けることができる常設の施設があれば良い。
- ・事務局のセッティングが素晴らしかった。
- ・タイミング良く雪も降りいろいろな体験ができ、これを今後も活かしていきたいと思う。
- ・感覚をつかむのに時間がかかる人もいるので、実際に操作できる時間がもう少しあるといい。
- ・私個人としては、全額負担でもよいが、ある程度補助してもらえると助かる。

自由意見

- ・内容が素晴らしいので、今後は多数参加が課題だと思う(集客宣伝を工夫する)。習得した技術を忘れないように、いろいろな場所で役立てたい。さらに、安全で効率的な活動に努め、雪掘りの総合的な集団になれるよう、組織内の結束を強められるように、定期的な交流に努める。
- ・非常に有意義なプログラムだった。専門講師や受講生にかぎらず、地元の人々の参加があると、もっと楽しいのではないか。雪の質など基本的なレクチャーがあってもよいのでは。雪の硬さや積もり方(積もるスピード等も)などの基本的知識があると雪に挑みやすいのではないか。
- ・コーディネーター編の座学と実習、ワークショップなどの企画も必要である。地元の人とボランティアの交流の部分をもっと掘り下げたものを作っていくのも良いと思う。
- ・初級も受けたがこのように自分がどのようなレベルのボランティアができるかという確認できる機会を得ることができる講習会は大変良いと思う。これからも続けてほしい。
- ・今の予算がなくなった場合の運営方法が課題ではないか(上級編について)。
- ・新潟県、市町村との協働を考えても良いと思う。送り出しボラとして、広報(地元ボラセン)など少しは協力できるのではないかと思う。ありがとうございました。
- ・もう少し広くPRして、多くの人々が今後参加できるようになれば良いと思う。
- ・道場の定例化を望む。道場のイベント化。

【プログラム全体についての自由記述】 3/3

第4回越後雪かき道場 in 飯山（初級コース）

改善した方が良い点や提案

- ・泊まった所も風情があり、食事も美味しくてほんとありがたかった。もう少し早めに始めて、終わりを遅くし、色々なプログラムをしてもよかったかもしれない。

感想

- ・雪かきも、カルタもすごく楽しかった。
- ・神戸から来たのが遠かったということ以外、とても楽しめた企画だった。
- ・普段なかなかできない体験をすることができて視野が広がった。貴重な二日間だった。
- ・今回の場所についても、信州のいなからしい所で良いと思う。安全管理についても、作業前の講義をうけてから作業するという順番も良いと思う。自分の所でも雪かきボランティアをしているが他の所で参加者として、参加して勉強になった。
- ・座禅など、お寺でしか経験できないことをやれたので良かった。
- ・全体を通し、大変貴重な経験をすることができたので、参加して本当によかったと思う。
- ・よい体験ができた。雪国の地元の人と、雪とのかかわり合い、暮らしに、興味をもった。

自由意見

- ・来年、ぜひ雪かきボランティアに参加したいと思う。情報をいただけるとうれしい。
- ・雪かき体験自体おもしろかったが、参加した人たちと交流できたのが、とてもよかった。交流を通して、十日町の人から雪かきボランティアの難しさについて話を聞くなど、いろんな関心がこの企画を通してわいた。
- ・「顔の見える関係をつくり、ボランティアの入りやすい状況をつくる」というコンセプトはとても良かったと思う。実際にまた来たいと思ったし、こういう風に徐々に関係づくりしていければいい。現地の方の話を聞く機会がもっと多かったら嬉しかった。
- ・できる限りで、機会があったら是非やりたいと思った。
- ・「除雪ボランティア」という事をあまり前面に出さずに、名称の通りに雪かき教室、雪かき体験会的なスタンスで続けた方が、外部からの煩い声を避けられて、かつ、本来の目的をスムーズに実践できるのではないか。
- ・雪かきボランティアが屋根上で作業できる状況をどのようにしてつくるか、苦労している。今後とも、指導、アドバイスをよろしく願いたい。来年シーズンは、ぜひ、十日町市池谷での道場開催をよろしく願いたい。
- ・雪国で生活している方の話（降雪の良い面や悪い面など）が大変興味深かった。一人での参加だったが、サポートをよくしてもらったので、活動しやすかった。
- ・今回の雪かき道場での学びを生かせるよう積極的に除雪のボランティアなどがあれば参加していきたいと思う。
- ・地域に入り、道場実施の手配・調整をしてもらったことに大変感謝している。研修かつ地域交流の仕組みは勉強になった。今後ともよろしく願いたい。
- ・除雪ボランティアを集める時に、参加者がどうしても不安になる事（事故など）が災いである。道場という切り口からボランティアを体験できるのはどうでもよいことだと思った。

（7）「越後雪かき道場」の総括

平成 18 年度冬期は、記録的な少雪ながらも「越後雪かき道場」を計 4 回（湯沢町福祉除雪ボランティア交流会との共同開催を含めると 5 回）開催することができた。また、図表 4 - 28 に示すとおり、各回ともそれぞれ特徴のある取組となり、そのため越後雪かき道場の開催方法やプログラムにもバリエーションができた。

今回の実証実験を通して、地域外からのボランティア等に雪処理作業に必要な技能や安全確保の知識などを伝えるとともに、参加者と地元地域とのコーディネートを果たし、双方にとって意義のある活動とするための一つの仕組みとして、「越後雪かき道場」というプログラムを開発することができ、その有効性も検証することができた。

越後雪かき道場を運営する上で、配慮すべき事項は多数あるが、特に不可欠と考えられる要素を集約すると、以下の 3 点である。

＜越後雪かき道場 運営のポイント 3 点＞

- ）当日の現場の状況に応じて、プログラムを柔軟かつ臨機応変に調整・変更する。
- ）指南役は地元住民に依頼し、事務局は参加者と指南役をつなぐ役割を担う。
- ）修了認定証を発行し、参加者の達成感と満足度を高めるとともに、地元側においても意識を変えるきっかけとなるよう留意する。

図表 4 - 28 越後雪かき道場 各回の特徴

コース	場所・開催日	特徴	研修内容
初級	長岡市山古志地区種芋原 平成 19 年 1 月 20、21 日	事務局で参加者を募集し、行政（山古志支所）及び開催会場（あまやち会館）の協力を得ながら、事務局主導で開催。	<ul style="list-style-type: none"> ・雪の特性や除雪の基本、安全のための基礎的な知識 ・かんじきの使い方 ・スコップ、スノーダンプの使い方（主に地上作業）
	小千谷市塩谷地区 平成 19 年 2 月 3、4 日	もともと塩谷地区への除雪ボランティアツアーを企画していた「静岡絆の会」に「越後雪かき道場」の実施を提案し、地元住民の協力を得ながら共同開催。	
	長野県飯山市戸塚地区 平成 19 年 2 月 24、25 日	長野県社会福祉協議会と連携し、県外への出張開催を敢行。雪の灯籠づくり、トレッキングなど、雪国を楽しむプログラムも柔軟に取り入れる。	
中級	実施なし	-	・屋根の雪下ろしの実習
上級	長岡市山古志地区 平成 19 年 2 月 11、12 日	国土交通省北陸地方整備局、日本建設機械化協会と連携し、労働安全衛生法に定められた「小型車両建設機械運転業務」の研修を実施する形で開催。	・ハンドガイド式小型除雪機、ホイールローダの操作技術講習

越後雪かき道場における今後の課題を整理すると、以下のとおりである。

＜越後雪かき道場 今後の課題＞

）中級コースのプログラム（屋根の雪下ろし講習）の開発

今冬は少雪のため、ほとんど屋根雪下ろしの機会がなく、中級コースを実施できなかった。雪による死傷者をみると、雪下ろし作業中の事故が最大の原因となっており、雪国住民にとっても深刻な問題であるため、中級コースのプログラム開発・検討が必要である。

）中級コースの実施場所（雪下ろし講習ができる場所）の確保

上記の中級コースのプログラム開発と併せて、実施できる場所（屋根）を安定的に確保することも重要である。既存の公共施設や民間施設等と連携しながら、冬になるとあの場所でやっているといった常設の「道場」（例えば長岡市山古志地区あまやち会館など）がいくつかできると望ましい。

）レベルの高い実践メニューの開発

基本コースの形はできてきたが、さらなる安全技術の獲得と普及、リピーターの確保、ネットワークの拡大を図るためには、命綱講習、転落訓練、雪庇処理など、レベルの高い実践メニューを開発していくことが重要である。講師としてエキスパートを招聘しながら、つながりを作っていくことも望まれる。

）継続できるプログラムとしての体制づくり

次年度以降、継続していくためには、採算性を考慮したプログラムと実施体制の整備が不可欠となる。NPO 法人中越防災フロンティアを中心とした今後の事業展開の方法や可能性について検討するとともに、例えば「雪かき道場パッケージ」として、総額いくらでどのようなプログラムを実施できるのかを明らかにし、メニューを整備していくことが期待される。

＜雪かき道場パッケージ：イメージ＞

資料代（カルタ含）	1人1,000円
講師派遣料	講師一人につき10,000円
講師旅費	実費
会場費	実費
運営費	30,000円（条件に応じて設定）